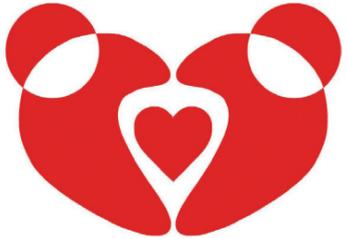


企業内人権教育啓発誌

妙蓮

みょうれん

Vol. **32**
2021
3月発行



守山市企業内人権教育推進協議会シンボルマーク

守山市企業内人権教育推進協議会
編集発行人 中塚 宗浩

<http://www.usennet.ne.jp/~mori-kjk/>

外部研修参加の報告

● 部落解放研究 第28回滋賀県集会

オンライン開催!!

- ・日時 令和3年2月13日(土)
14時10分～15時30分
- ・記念講演 「全国水平社100周年に向けた
部落解放運動の課題と展望」
- ・講師 組坂 繁之さん
(部落解放同盟中央執行委員長)

新規加入の企業

新たにご加入いただいた企業・事業所を
紹介します。

- 株式会社エー・シーケミカル



ご入会のご案内

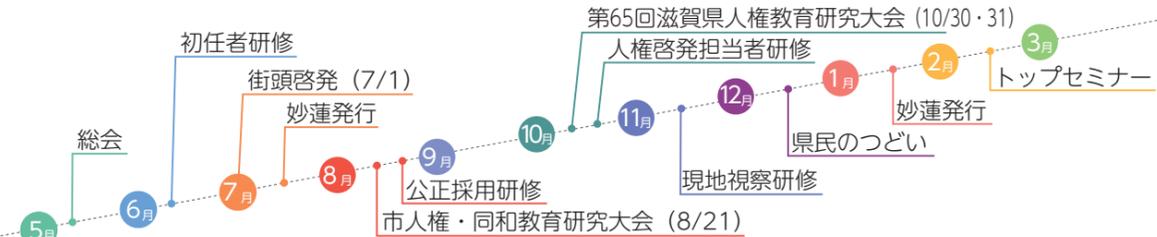
「守山市企業内人権教育推進協議会」では、
企業の経営者や従業員の皆さんが、同和問題をは
じめとするあらゆる人権問題に対する正しい理解と
認識を深め、明るい職場づくりを目指して、共に
学んでいこうと様々な活動に取り組んでいます。
活動にご賛同いただき一緒に活動していただく
企業・事業所を募集しております。

問い合わせ先

守山市企業内人権教育推進協議会事務局
(守山市役所 商工観光課内)
TEL:077-582-1131 FAX:077-582-1166

事務局からのお知らせ

守山市企業内人権教育推進協議会では、年間を通して様々な研修会等事業を実施しています。
令和3年度事業につきましても、下記のとおり計画を予定していますので、積極的なご参加をお願いします。



※スケジュールは変更になることがあります。

新しい人権啓発DVDのお知らせ

「介護離職を乗り越える
～ある企業の取り組みに学ぶ～」
(DVD25分)

介護離職者が出ることで受
ける企業の損失を訴えなが
ら、介護者が働きやすい職場
作りを実践している2つの会
社の実例と共に、具体的な取
り組みを紹介。



「障害者は困っています！」
第1巻 合理的配慮へのポイント①
(肢体不自由、視覚障害、聴覚障害)
(DVD20分)

「肢体不自由」「視覚障害」
「聴覚障害」を持つ方々が感
じる不便さに、どのように対
応すべきかについて解説。



企業・事業所内での人権啓発
に是非ご活用ください。

ご活用ください

令和2年12月に、人権啓発教材集『人権すごろく』
を事業所1社に1冊、お配りしております。
この教材集を企業・事業所内での人権啓発に是非
ご活用ください。



◆第7回事業所内人権教育公正採用研修会報告

- ・日時 令和2年8月24日(月) 13時30分～15時
- ・場所 守山市民ホール 1階小ホール
- ・参加者 37社40名
- ・演題 「公正な採用選考について」
- ・講師 森岡 淳さん(草津公共職業安定所 統括職業指導官)



「公正な選考」とは何かを、企業の採用担当者向けに基礎から改めて身に付けていただく実践的な内容でした。採用選考での問題事例および就職差別につながるおそれのある14事項、不適正質問について一つ一つ、分かりやすくお話しいただきました。「不適正質問」がなぜ不適正なのか、本質から理解することで、「つい」「うっかり」から生じる不適正質問を防止し、企業の社会的責任(CSR)の向上のためのヒントを得ていただく機会となりました。

◆第43回事業所内公正採用選考・人権啓発担当者研修会報告

- ・日時 令和2年10月23日(金) 13時30分～15時30分
- ・場所 守山市民ホール 1階小ホール
- ・参加者 44社45名
- ・演題 「部落差別の今」～引き継がれる困難～
- ・講師 妻木 進吾さん(龍谷大学経営学部経営学科 准教授)



研修会は、被差別部落の生活実態調査の分析結果を、データやグラフを用いて、分かりやすくご説明くださいました。部落差別は心理的な側面、実態的な側面の両方で、今日もなお深刻な問題として残っている事実が提起されました。企業内で人権意識を啓発する担当者の役割について、その重要性も含めて理解を深めていただきました。



◆第35回事業所内人権教育研修トップセミナー報告

- ・日時 令和3年2月18日(木) 13時30分～15時30分
- ・場所 守山市コミュニティ防災センター 1階研修室
- ・参加者 43社41名
- ・演題 「インターネットと人権～ネットで被害者にも加害者にもならないために～」
- ・講師 石川 千明さん(NPO法人 奈良地域の学び推進機構 理事)



インターネットは便利である一方で、重大な人権侵害を容易に引き起こし、企業の信用や従業員の人生を根底から壊しかねないリスクがあります。ご参加いただいた経営者の皆さまには、コロナ禍で急速に進展した社会の非対面化とそれを支えるインターネットとの、安全な付き合い方について「気づき」や「学び」を得ていただく機会となりました。



◆人権学習の取り組み

●社会福祉法人 慈恵会 ゆいの里

社会福祉法人 慈恵会 ゆいの里は開業医として地域診療に関わってきた創設者が、守山にも老人施設が必要だと一念発起して1985年に社会福祉法人、翌年特別養護老人ホームを開設、23人からのスタートでしたが35年経過した今では220人余りの職員、そして特養・ショートステイ・グループホーム・ケアハウスに200人近いご利用者さんがお住まいになられています。



そのほか在宅サービスとして、デイサービス4か所、訪問介護・訪問看護・居宅があり、また守山市から2か所の地域包括支援センターを受託しています。

「お互いを認め、活かし、思いやりを持って手を結ぶあたたかいゆいの心(相互扶助)」の理念のもと、ご利用者の人権に配慮した自立支援を、また平成5年のサロン事業以来、地域に出向く、お越しいただく地域貢献事業にも力を注ぎ、年間延べ1200人のボランティアの受け入れや交流ホームにおける様々な自主活動を行っております。

人権啓発の取り組みについては、高齢者の人権を守ることが大事な仕事である関係上、県・市の研修への参加、法人内の新任研修、園内研修はもちろんのこと、部署会議においても都度啓発を行っております。

障害者雇用については専門家からのアドバイスを受け、現在5人の方に就労いただき、昨年9月には障害者雇用の優良事業所として知事表彰を受けました。

今後もご利用者の人権・職員の人権に留意して笑顔や笑いの絶えない法人でいられるよう、地域の皆様のお支えを頂きながら私達は今後も地域のお役に立って地域貢献できる仕事をしてまいりたいと思います。

●株式会社エー・シーケミカル

株式会社エー・シーケミカルは、2006年6月に設立し、現在の守山市播磨田町には、2015年7月に野洲市から移転しました。独自のポーラス材料技術により従来の発泡スポンジに見られない吸水性、吸油性はもちろんのこと柔軟性・弾力性・耐熱性・耐薬品性・耐摩耗性に優れた高機能性スポンジの製造・販売を行っております。主に半導体、液晶、プリント基板、ガラスの製造工程中の洗浄後の吸水目的や、液体を塗布する用途でご使用頂いております。また、工業用途以外では、医療分野・食品分野・化粧品分野でも実績がございます。現在、長年工業用製品を製造する事で培ってきた技術を基に、マスクや3Dパフなど生活用品分野への製品の製造・販売もはじめました。

人権啓発の取り組みとしては、県や市が開催する研修会に参加し、朝礼での情報共有や社内会議で周知徹底しております。弊社は社員の平均年齢が若い事もあり、セクハラ、パワハラ等のハラスメント防止や社員の仕事に関する意識向上の為に、年に2回社員との個人面談を行い、意見を会社に反映しております。

福利厚生面では、長期休みに前に全社員が集まる食会や忘年会を会社負担で開催し、気軽に意見交換や親睦を深める機会を作っております。

また、昨今大きなテーマである働き方改革にも積極的に取り組み、会社として「残業しない」を方針に掲げる事で、社員1人ひとりの個の能力を発揮させ、時間内の仕事を集中して取り組み、社員の心身の負担を軽減する事で、ストレスなく健康を維持出来ます。そのことで、会社としても健全性が保たれ、企業としての評価を高めていくことにもつながります。

今後は、更なる有給休暇取得率の向上や、男女雇用機会均等法に基づきお客様や社会に貢献出来る企業を目指して、社員が快適で働きやすい職場づくりに努めてまいります。



◆現地視察研修会報告

- ・日時 令和2年11月26日(木) 9時30分から12時15分
- ・研修先 滋賀県立野洲養護学校 (滋賀県野洲市小南)
- ・参加者 会員5名 事務局4名
- ・研修内容 学校説明、授業風景見学・質疑応答

今年度はコロナ禍での現地視察研修のため、守山市企業内人権教育推進協議会、単独での半日開催といたしました。

野洲養護学校の学校説明、授業風景見学、質疑応答と丁寧にご説明・ご案内いただき、現地で、見て・聞いて・学ぶことで、障害者雇用について理解を深めることができました。また特別支援学校との関係づくりにもつながる良い機会となりました。



参加者アンケートより抜粋

- 初めて養護学校の様子、取り組みが身近に見ることができて、勉強になりました。
- 明るい現場で、いきいきと活動されている様子が見られたことがよかった。